

キャラクター名
久河 涼(ひさかわ すず)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ソラリス		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	中学生
	オプショナル		年齢	15	性別	女
覚醒	死	衝動	嫌悪	初期侵食率	39	%
出自	安定した家庭	経験	心の壁	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	7
精神	2	1	2			5	戦闘移動	12
社会	4	0	0			4	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:料理	3		情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
“朝” (79↓/①~⑤)	RC	5r+1		33		範囲(選択) C値9 G値-5で算出 HP5点消費 侵蝕率+15
		0				
“白昼”	RC	3r+1		45		範囲(選択) C値9 G値-5で算出

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
欲望の姫君	
カジュアル	
携帯電話	
コネ:手配師	
コネ:要人への貸し	
専門家:料理	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
遺産継承者:欲望の姫君	P 尽力	N 嫌悪		
両親	P 誠意	N 悔悟		
夏樹	P 連帯感	N 憤懣		
白い少女	P 有為	N 脅威		
恵羽	P 感服	N 隔意		
泰介	P 誠意	N 劣等感		
貞光	P 親近感	N 脅威		

最大財産P: 10 残り財産P: 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:サラマンダー	1	2	MA	-	-	シンドローム		
効果:	C値-[LV](下限値7)							
災厄の炎	5	4	MA	至近	範囲(選択)	RC		
効果:	射撃攻撃+[LV*3] 対象変更不可							
氷炎の乱舞	5	4	《災厄の炎》	-	-	RC	リミット	
効果:	攻撃力+[LV*3] 判定D-2個							
トランキリティ	1	3	MA/RE	-	-	[精神]		
効果:	判定D+[LV+1]個 HP5点消費							
砂の刃	1	2	MA	視界	-	RC		
効果:	射撃攻撃+[LV+2] G値-5で算出							
クロスバースト	3	4	MA	-	-	シンドローム	80↑	
効果:	攻撃力+[LV*4] 判定D-2個							
プラズマカノン	3	4	MA	視界	単体	RC	100↑	
効果:	射撃攻撃+[LV*5]							
オーバードーズ	1	4	MA/RE	-	-	シンドローム	100↑	
効果:	エフェクトのLV+2 [LV]回迄							
クリスタライズ	3	4	MA	-	-	シンドローム	100↑	
効果:	攻撃力+[LV*3] 装甲値無視 3回迄							
麗しの容貌	★	-	常時	至近	自身	自動		
効果:	常に最適な美容状況を維持できる							
竹馬の友	★	-	MA	視界	単体	自動		
効果:	対象の信頼を得る							
効果:								
効果:								
効果:								

思い出してみれば、私の人生は愛に満ちていた。
家族愛とか。隣人愛とか。友愛とか。恋愛とか。
色んな愛があるけれど、それは等しく愛だった。

まさしく平凡な人生だった。変わり映えの無い日常だった。
今日が終われば明日が訪れる。それが当然の毎日だった。
けれどもそれは幸せだった。いつまでもずっと続くと思っていた。

ある日私は死んだ。
理由は分からない。覚えていない。
確かなのは2つ。幸せはそこで終わったこと。
そして、その幸せが決して取り戻せないこと。

私は偽りの人生を手に入れた。代償として支払ったのは愛だった。
今までに注がれてきた愛も。これから手に入れるはずの愛も。

死ぬまで戻ることはない。死んでも戻るかすらわからない。
それでも私は、それを求め続けなければならぬ。
この身の呪縛が解かれぬ限り。宿る悪魔が消えない限り。

「君は私のこと、愛してくれる？」